

## 12月27日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①ウクライナ軍ミサイルで揚陸艦損傷 攻撃の戦闘機 2機は破壊＝露国防(2023年12月26日)

露国防省は26日、クリミア半島の黒海沿岸・フェオドシアでウクライナ軍による空爆を撃退する過程で、露軍の大型揚陸艦ノボチェルカスクが損傷したと発表した。

同省の発表によると、露軍は対空防衛システムによって、ミサイルを発射したウクライナ軍の Su24 戦闘機 2機を、ウクライナ南西部のニコラエフから約125キロ北東の地点で破壊した。

また、クリミア共和国のセルゲイ・アクショーノフ首長によると、この攻撃で1人が死亡、2人がけがをした。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1739544163568226413?ref\\_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1739544163568226413%7Ctwgr%5E01369b75bfb55320994b27f68e888e18de2d4cc2%7Ctwcon%5Es1\\_&ref\\_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20231227%2F263-17839560.html](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1739544163568226413?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1739544163568226413%7Ctwgr%5E01369b75bfb55320994b27f68e888e18de2d4cc2%7Ctwcon%5Es1_&ref_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20231227%2F263-17839560.html)

### ②数十カ国が BRICS の接近を望んでいる＝ラブロフ外相(2023年12月26日)



ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相は26日、露与党「統一ロシア」の国際協力委員会総会に参加し、BRICSの発展拡大について発言した。

「BRICS が真に民主的で相互尊重な土台の上に成り立っている今、これに多くの国が接近しようとするのは必然だ。BRICS とのパートナーシップ確立を望む国は数十カ国にも上る」

ラブロフ外相はさらに、ロシアは BRICS が多極世界の中心の一つとしての立場の強化につながるよう努めると加えた。

[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1739616824956723645?ref\\_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1739616824956723645%7Ctwgr%5E01369b75bfb55320994b27f68e888e18de2d4cc2%7Ctwcon%5Es1 &ref\\_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20231227%2F263-17839560.html](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1739616824956723645?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1739616824956723645%7Ctwgr%5E01369b75bfb55320994b27f68e888e18de2d4cc2%7Ctwcon%5Es1 &ref_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20231227%2F263-17839560.html)

### ③セルビア暴動 選挙結果に不服の野党支持者ら(2023年12月26日)

セルビアの首都ベオグラードでは、先週行われた議会選挙の結果を認めないや野党支持者らによるデモが続いており、暴徒化した参加者と警察の衝突も起こっている。現時点での状況をまとめた。

デモ隊が議事堂に石やガラスを投げるなどし、警察が強制排除

デモ隊が選挙管理委員会建物を包囲、警察は現場を封鎖するなどの対応

衝突で警察官が 2 人が重傷、35 人のデモ参加者を拘束

ブチッチ大統領は国家安全保障会議の緊急会合を招集

ブチッチ大統領は「抗議活動は革命ではない」として、国民に平静を呼び掛けた

ブラナビッチ首相は、暴動の情報を事前に通告したロシアの情報機関に感謝の意を表明

#### 露大使、ブチッチ大統領と会談「ウクライナと同じ」

ロシアのボツァン＝ハルチェンコ駐セルビア大使は 25 日、同国のブチッチ大統領と会談し、議会選挙の結果を巡る首都ベオグラードでの抗議活動について意見を交わした。

大使は会談後、今回の暴動は 2014 年のウクライナでの「マイダン革命と同じ原理で計画・実行された」との認識を示した。また、「ブチッチ大統領には抗議活動が西側諸国によって支援されているというデータがある」と述べた。

一方、これに先立ち露外務省のザハロワ報道官も、「西側諸国がマイダン国家転覆のテクニックを使い、セルビア情勢を揺るがそうしているのは明白だ」との見解を示していた。

<https://twitter.com/i/status/1739196477694419235>



<https://sputniknews.jp/20231225/25-17833535.html>

#### ④マントウロフ露副首相にインタビュー 旧日産工場にも言及(2023年12月26日)

ロシアのデニス・マントウロフ副首相兼産業貿易相は、スプートニクのインタビューのなかで、ロシアの産業は制裁下でも着実に発展しているとの認識を示した。

インタビューでマントウロフ副首相は、サンクトペテルブルクの旧日産自動車工場を保有している露アフバス社が米国による制裁対象となった影響について答えた。

「アフバスの生産拠点は発展し続けている。ペテルブルクの工場もそうだ。来年には増産が予定されている」

デニス・マントウロフ(露副首相)

#### マントウロフ副首相のその他の発言

多くの専門家の予想とは異なり、経済分野で肯定的な結果が出ている。ロシアの製造業は今年、7%の成長を達成しようとしている

非友好国の産業スパイは常にいたし、今も、明日もいなくなることがない。有望な発明や武器のデータ、パラメータだけでなく、貴重な専門家ら人的リソースに対する引っこ抜きも行われている

2024 年中に 20 機の国産旅客機 SJ-100、6 機の MC-21 を製造する

自画自賛するつもりはないが、我々の軍需産業は西側のそれより速いテンポで進んでいる



<https://sputniknews.jp/20231225/25-17833535.html>

#### ⑤鈴木宗男氏の勇敢な行動に感謝 = 露上院副議長(2023年12月26日)

ロシア上院のコンスタンティン・コサチョフ副議長は 26 日に行われた記者会見で、10 月の #鈴木宗男・参議院議員のモスクワ訪問について、「政治的勇敢さのあらわれだ」と述べ鈴木氏を称賛した。

「帰国すれば非難的にさらされるのは明白だった。鈴木氏は長年にわたり、独立した責任のある政治的視点を持った政治家として知られている」

コサチョフ副議長がスプートニクに語ったところによると、鈴木議員の行動は、いわゆる非友好国の一部の国会議員の手本となった。彼らはロシアに嘆願書を送り、その中で政治当局の意見に反対し、国会を通じてロシアとの対話を発展させる構えがあることを強調した。

また、コサチョフ副議長は鈴木氏に対し、「偏見のない勇気ある日本の政治家としての立場を保って

くださったことに誠意ある感謝の言葉を伝えたい」と述べた。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1739611818753175815?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1739611818753175815?s=09)

## ⑥ウクライナ捕虜のクリスマス会話(2023年12月26日)

「もうすぐ 2024 年だ。死を迎えるために無駄に送られてきたウクライナ兵たちは 2 年前からロシアの捕虜収容所にいる」

「ロシアのジャーナリストのお陰で、ビデオで家族に会えた。私たちはクリスマスのパーティを家族と楽しむことができない」

「それで、ウクライナ大統領ヴォロディミル・ゼレンスキーのために特別なウイスキーを用意した」

「我々は、すべてのロシア人、ウクライナ人が夜、穏やかに眠れる正常な環境で生きられるようになることを願っている」

「世界中の政治家たちがお前をコキ下ろすことを願う」

「お前の野望が何一つ達成されませんように」

「兄弟を失う悲しみ、オリガルヒやお前の息子たちの金のために殺される無念を、お前も思い知れ」

「お前も我々のように、家族や親戚と毎日、夕食をともにすることができなくなるといいな」

「疎外感を味わえ」

「捕虜交換を破ったのと同じ回数だけ、奥さんと H してろ(ピー👉)」

「お前が我々を粗末に扱っているように、すべての人がお前を粗末に扱うことを願う」

「お前がマイダン広場で腎臓結石になりますように」

「2024 年にすべてが変わっても遅くはない。我々はヨーロッパではなくロシアの側にいたい。我々が生まれる前から同じ地域で一緒だった人々と」

「みんな、家族と一緒にいたいんだ」

「ゼレンスキー大統領、お前が新年を、我々と同じように監獄で迎えることを願っている」

「パーティを開いてるみんな、おめでとう。私達も早く帰りたい。待っていてくれ」

※投稿者コメント

▽ 捕虜になって命が助かって良かったね。

▽ 早く家に帰れると良いね。

▽ 最初から何もなかったらもっと良かったね。マイダンも金に汚いピエロもボケ爺も NATO も。  
<https://twitter.com/i/status/1739469082947444789>



<https://mail.yahoo.co.jp/u/pc/f/message/AB3MY2QAACChEZyt2Vw6aSF3UvpA>

## ⑦ロシア戦闘員がに置き去りにされたウクライナ軍少女兵士を救出(2023年12月26日)

ドニエプル川左岸のクリニキ近郊での戦闘で、ロシア海兵隊と空挺部隊は衝突の際にウクライナ兵を撃破し、戦場にはウ兵の死体と負傷者が散乱した。

ロシア軍は負傷した女性兵士が上空のドローンに手を振り、助けを求めているのを発見した。



<https://twitter.com/tobimono2/status/1739495973083292134?s=09>

## ⑧新しい方法での動員。最初に軍隊に入隊する人:役人、警察官、または障害者(2023年12月25日)

※安齋注:奇妙な訳文もありますが、大体わかるでしょう。

動員に関する主要な法案は、第1および第2の障害グループがある場合にのみ、健康上の理由で兵役を免除します。軍隊の階級は、手足を切断した人々によって補充することができます。Focus は、なぜこのような急進的なアプローチが軍隊への採用が必要なのか、そしてそれがどのような効果をもたらすのかを調べました。

準備中の動員法案は、ウクライナ人の新たな義務を規定している。12月21日、人民副大臣のマリアナ・バズーラはフェイスブックで、誰もが軍の登録・入隊事務所に出頭し、個人データを明確にし、健康診断を受けることが義務付けられているという未来の文書の論文を公開した。サービスに対する「限定的なフィットネス」のカテゴリーはなくなります。

健康上の理由による兵役の延期と免除の権利は、第1および第2グループの障害者に与えられます。3番目のグループ(後出)は草案文書に記載されていないため、適格として自動的に認識されます。

現在、ウクライナの法律「動員訓練と動員について」の第23条は、障害者は動員中に徴兵の対象とならないと述べています。障害者団体は特定されていないので、3つすべてについて話しています。しかし、もしウクライナ大統領が新法に署名すれば、すべてが変わるだろう。

以前、公務員、法執行官、検察官、国家行政機関の従業員、および元人民代議員の軍隊への採用に関する人民代議員の別の革新をすでに分析しました。

軍事専門家は、内務省の構造だけで最大30万人がいると指摘しました。いくつかの軍事旅団は、この省から自由に形成されています。これほど膨大な数の治安部隊と当局者がいるのに、なぜ障害者を軍隊に巻き込むのか、という疑問が湧いてくる。まだ誰も答えを出していません。

手足の切断、片目、難聴:なぜ彼らはグループIIIの障害を与えるのか

**第3の障害群**の割り当ては、手足の切断を含む非常に深刻な健康問題を意味します。主な例は次のとおりです。

片方の肺または目の欠如。

職業病、労働災害、または軍事傷害に起因する実質的な失明。家庭内の怪我や病気の後の片目。

両側性難聴;

手の麻痺または欠如、上肢または下肢の麻痺。

頭蓋骨の骨の重大な欠陥、脳の脈動。

手がなく、上肢切断率が高い。

最初の指を除いて、手の4本の指のすべての指骨がない。

手に指がない、太ももまたは下肢の切り株。

股関節の先天性または後天性脱臼、または機能の著しい障害を伴う1つの股関節;

甲状腺全摘出術(甲状腺の切除)。

心臓の人工弁;

一方の腎臓と他方の病理の欠如。

両側乳房切除術(乳房疾患による女性の乳房の切除)。

第1および第2の障害グループは、身体の重度機能障害に割り当てられます。多くの場合、これらの人々は自分自身の世話をすることができず、常に監視とケアが必要です。

目の欠如、大腿部の真ん中3分の1以上の高さにある下部の切り株、4本の指のすべての指骨がない手の切り株 - これらすべてについて、最初のグループが得られます。



<https://enovosty.com/uk/news-ukr/news-society-ukr/full/2512-mobilizaciya-po-novomu-xto-pershim-potrapit-do-armii-chinovniki-policejski-chi-lyudi-z-invalidnistyu>

## ㊦ラブロフ露外相が第一チャンネルによる番組「ビッグゲーム」のインタビューに応じた中で発言(2023年12月26日)



米兵は戦闘行為に参加せず、主権、領土一体性、そして欧州的价值観をかけた「正義の」戦争を繰り広げるウクライナを「支援」しているに過ぎないという話を連日耳にする(そして他の西側諸国もオウム返ししている)。ポーランドや他の欧州諸国出身の傭兵については、ビデオ空間も含めて多くの証拠がある。一部の中東諸国からも参加しているが、特にシリアでは米兵が依然としてアル・タンフ駐屯地を維持しており、そこでは IS 戦闘員がかくまわれている。そうした戦闘員の一部はすでにウクライナで確認されている。

傭兵に加えて、NATO 加盟国の正規兵がウクライナで戦っていると信じるに足る根拠が十分にある。また、テロ攻撃にはアングロサクソン国家やその他の国々から来た特殊部隊のスペシャリストらも積極的に参加していたし、今も参加し続けている。つい最近に西側のメディアで報じられた情報によると、西側特殊機関に所属する特殊部隊の参加により「ノルド・ストリーム 1」と「ノルド・ストリーム 2」は爆破され、水深 250 メートルまで潜ることができる装置(メディアではこの装置について言及され

ていた)が使用されたという。仮に裁判がいつか終わるとして、これがどの程度、最終結論に反映されるかは不明である。ただし、「アンドロメダ号」なる遊覧ヨットで 6 人がワイン 5 本を持って出港し、潜り込んでこのテロ攻撃を実行したという説よりも、はるかにもっともらしく聞こえる。

ウクライナ情報総局の K.A.ブダノフ局長は米国の特殊作戦部隊指導部と協力していたことを公然と認めている。CIA や MI6(英国対外諜報機関)との緊密な連携のため、ウクライナ軍内に「第 5 特殊部隊」と「第 6 特別部隊」が創設されたという情報もある。そうした事実はごまんとある。早くもマイダンの開始時から、米国の諜報機関がウクライナ保安庁の入る建物で「フロア」をまるまる管理していたことは誰もが知るところである。こうしたことは全てウクライナが主権国家ではなく、操作され、利用されていることを示している。ロシアの V.V.プーチン大統領はこれについて一度ならず語っている

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1739560121557246011?s=09>

## ⑩ウクライナ兵の高齢化(2023 年 12 月 26 日)

AFU にスカウトされたばかりで、路上で募集された。全員 45 歳以上。

若い兵士は皆、海外に逃亡したか、負傷したか、殺されたか、すでに塹壕に座っている。新しく採用された兵士のほとんどは、すでに老齢に近い。

<https://twitter.com/i/status/1739475799751922091>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1739475799751922091?s=09>